

観 点 発行者	17・教出	27・教芸
取扱内容 学習指導要領の総則 及び各教科の目標、 内容等	○ 目標の達成を目指す歌唱の学習活動 <ul style="list-style-type: none"> ・音楽に合わせて体を動かしたり，声の感じや強さを変えたりして歌う活動（第1,2学年） ・曲に合った歌い方を見付けたり，響きを大切にして歌い方を工夫したりして歌う活動（第3,4学年） ・表現を工夫して聴き合いながら歌い合わせたり，思いや意図を大切にしながらみんなで表現を工夫したりして歌う活動（第5,6学年） 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽に合わせて体を動かし声を合わせたり，声の強さに気を付けて呼びかけ合ったりして歌う活動（第1,2学年） ・友達と声やリズムを合わせたり，声が重なり合う美しさを感じ取ったりして歌う活動（第3,4学年） ・和音の響きの移り変わりをを感じ取ったり，曲想を生かして言葉や旋律のまとまりを大切にしたりして歌う活動（第5,6学年）
	○ 目標の達成を目指す器楽の学習活動 <ul style="list-style-type: none"> ・一つの楽器からいろいろな音を出したり，楽器を選んで歌に合わせたりして演奏する活動（第1,2学年） ・リコーダーの音でまねっこ遊びをしたり，パートの役割を生かしたりして演奏する活動（第3,4学年） ・パートの役割や曲の特徴を生かしたり，旋律や響きの変化を捉えたりして演奏する活動（第5,6学年） 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌に合わせて楽器でリズムを打ったり，リズムを選んで歌と重ねたりして演奏する活動（第1,2学年） ・リコーダーを吹く息の使い方に気を付けたり，パートの役割を生かしたりして演奏する活動（第3,4学年） ・いろいろな楽器の音が重なり合う響きを味わったり，曲の特徴にふさわしい演奏の仕方を工夫したりして演奏する活動（第5,6学年）
	○ 目標の達成を目指す音楽づくりの学習活動 <ul style="list-style-type: none"> ・リズムをつくって遊んだり，たいこの音やリズムを声で表したりして音楽をつくる活動（第1,2学年） ・伴奏に合わせて旋律をつくったり，音階の音を選び，友達と旋律をつなげたりして音楽をつくる活動（第3,4学年） ・和音に合わせて旋律をつくったり，音の重ね方，強弱，速さなどを工夫したりして音楽をつくる活動（第5,6学年） 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉でリズムをつくったり，リズムの繰り返しを使ったりして音楽をつくる活動（第1,2学年） ・繰り返しや変化を使ってまとまりのあるリズムをつくったり，日本の音階のよさを感じ取ったりして音楽をつくる活動（第3,4学年） ・打楽器の音色や音楽の仕組みを生かしてリズムアンサンブルをつくったり，旋律をつなげたり重ねたりして音楽をつくる活動（第5,6学年）
	○ 目標の達成を目指す鑑賞の学習活動 <ul style="list-style-type: none"> ・音楽に合わせて体を動かしたり，いろいろな音や旋律の移り変わりに気付いたりして聴く活動（第1,2学年） ・楽器の音色や曲の流れを捉えたり，曲の流れを感じ取り全体を味わったりして聴く活動（第3,4学年） ・曲のおもしろいところを見付けたり，世界のいろいろな声の表現や器楽の響きに気付いたりして聴く活動（第5,6学年） 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽に合わせて体を動かしたり，いろいろな楽器の音の中から好きな音を探したりして聴く活動（第1,2学年） ・旋律の音の上がり下がりやに気付いたり，音が表している様子を思い浮かべたりして聴く活動（第3,4学年） ・いろいろな楽器の音が重なり合う響きを味わったり，世界の様々な楽器の組み合わせから生まれる響きを味わったりして聴く活動（第5,6学年）
	○ 【共通事項】について <ul style="list-style-type: none"> ・強さや速さを感じ取って聴いたり，音の重なりやリズムを感じて演奏したりする活動（第1,2学年） ・旋律の変化や流れを感じ取って聴いたり，音の重なりやリズムを感じて演奏したりする活動（第3,4学年） ・主題の変化や伴奏の動きを感じ取って聴いたり，旋律の動きや重なりを感じて演奏したりする活動（第5,6学年） 	<ul style="list-style-type: none"> ・拍に乗ってリズムを感じ取って聴いたり，旋律の繰り返しを感じて演奏したりする活動（第1,2学年） ・旋律の重なりを感じ取って聴いたり，リズム伴奏の面白さを感じて演奏したりする活動（第3,4学年） ・詩と音楽の結び付きを感じ取って聴いたり，歌詞と旋律が一体となって生み出す曲想を感じて演奏したりする活動（第5,6学年）

観 点	発行者 17・教出	27・教芸																																				
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習へ対応する学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「どれみとなかよし」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、選んだ音に合わせて手の高さを工夫する学習の後に、歌に合わせて体を動かすなど、考えを広げたり、深めたりする活動（第1,2学年） ・「日本と世界の音楽」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、おはやしづくりの後に、世界に伝わるいろいろなリズムや歌を楽しむなど、考えを広げたり、深めたりする活動（第3,4学年） ・「アンサンブルのみりよく」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、交響曲の鑑賞の後に、思いや意図を大切にしながらみんなで表現を工夫するなど、考えを広げたり、深めたりする活動（第5,6学年） 	<ul style="list-style-type: none"> ・「はくにのってリズムをうとう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、音楽に合わせてリズムを打つ学習の後に、習ったリズムを選んで歌いながら打つなど、考えを広げたり、深めたりする活動（第1,2学年） ・「日本の音楽でつながろう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、箏曲を鑑賞した後に、日本の音階のよさを感じ取りながら旋律をつくるなど、考えを広げたり、深めたりする活動（第3,4学年） ・「詩と音楽の関わりを味わおう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、日本歌曲の鑑賞の後に、曲想を感じ取って、思いが伝わるように歌うなど、考えを広げたり、深めたりする活動（第5,6学年） 																																				
内容の構成・排列、分量等	<p>○ 系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな太鼓の音を楽しむ学習の後に、おまつりの音楽をつくる学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（第1,2学年） ・音の動き方を生かして旋律をつくる学習の後に、旋律の特徴を生かして歌う学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（第3,4学年） ・日本の民謡を調べる学習の後に、旋律の感じを生かして民謡を歌う学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（第5,6学年） <p>○ 内容の分量</p> <table border="0"> <tr> <td>・第1学年</td> <td>82ページ</td> <td>(約3%増)</td> </tr> <tr> <td>・第2学年</td> <td>82ページ</td> <td>(約3%増)</td> </tr> <tr> <td>・第3学年</td> <td>86ページ</td> <td>(前回とほぼ同様)</td> </tr> <tr> <td>・第4学年</td> <td>88ページ</td> <td>(約5%増)</td> </tr> <tr> <td>・第5学年</td> <td>88ページ</td> <td>(約2%増)</td> </tr> <tr> <td>・第6学年</td> <td>88ページ</td> <td>(約5%増)</td> </tr> </table>	・第1学年	82ページ	(約3%増)	・第2学年	82ページ	(約3%増)	・第3学年	86ページ	(前回とほぼ同様)	・第4学年	88ページ	(約5%増)	・第5学年	88ページ	(約2%増)	・第6学年	88ページ	(約5%増)	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな楽器の音から好きな音を探す学習の後に、音を重ねて音楽づくりをする学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（第1,2学年） ・旋律の特徴を感じ取って聴く学習の後に、旋律の特徴を生かして歌う学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（第3,4学年） ・日本の旋律の美しさを味わいながら歌う学習の後に、日本の民謡を調べる学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（第5,6学年） <table border="0"> <tr> <td>・第1学年</td> <td>82ページ</td> <td>(前回とほぼ同様)</td> </tr> <tr> <td>・第2学年</td> <td>82ページ</td> <td>(前回とほぼ同様)</td> </tr> <tr> <td>・第3学年</td> <td>86ページ</td> <td>(前回とほぼ同様)</td> </tr> <tr> <td>・第4学年</td> <td>86ページ</td> <td>(前回とほぼ同様)</td> </tr> <tr> <td>・第5学年</td> <td>86ページ</td> <td>(前回とほぼ同様)</td> </tr> <tr> <td>・第6学年</td> <td>86ページ</td> <td>(前回とほぼ同様)</td> </tr> </table>	・第1学年	82ページ	(前回とほぼ同様)	・第2学年	82ページ	(前回とほぼ同様)	・第3学年	86ページ	(前回とほぼ同様)	・第4学年	86ページ	(前回とほぼ同様)	・第5学年	86ページ	(前回とほぼ同様)	・第6学年	86ページ	(前回とほぼ同様)
・第1学年	82ページ	(約3%増)																																				
・第2学年	82ページ	(約3%増)																																				
・第3学年	86ページ	(前回とほぼ同様)																																				
・第4学年	88ページ	(約5%増)																																				
・第5学年	88ページ	(約2%増)																																				
・第6学年	88ページ	(約5%増)																																				
・第1学年	82ページ	(前回とほぼ同様)																																				
・第2学年	82ページ	(前回とほぼ同様)																																				
・第3学年	86ページ	(前回とほぼ同様)																																				
・第4学年	86ページ	(前回とほぼ同様)																																				
・第5学年	86ページ	(前回とほぼ同様)																																				
・第6学年	86ページ	(前回とほぼ同様)																																				
使用上の配慮等	<p>○ 学習意欲を高める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・折り込みを使ったワイドな誌面で、歌詞に忠実な写真を掲載（第3～6学年） ・即興的に表現する活動を掲載（第1,2学年） <p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭「学習マップ」を掲載（全学年） ・「学習の進め方」コーナーを掲載（第3～6学年） <p>○ 使用上の便宜</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインフォントを使用（全学年） ・他教科と関連する教材として「ショート タイム ラーニング」を掲載（全学年） ・二次元コードを掲載（第3～6学年） 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習サポートする写真やイラストを掲載（第3～6学年） ・ナビゲーターのキャラクターを掲載（全学年） <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭「学習マップ」を掲載（全学年） ・巻末「ふり返りのページ」を掲載（全学年） <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルフォントを使用（全学年） ・外国語活動と連携した英語歌詞の歌を掲載（第3～6学年） ・二次元コードを掲載（全学年） 																																				

観 点	発行者 17・教出	27・教芸
指導上の配慮等	<p>○ 地域素材</p> <ul style="list-style-type: none"> 北海道民謡の「ソーラン節」や「江差追分」が扱われている 地域のゲストティーチャーを招き、実際に楽器に触れたり音色を聴いたりする学習活動を設定した教材が取り扱われている <p>○ ICTの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちの演奏を録音して聴き返してみる活動を設定するなどの工夫がなされている ウェブサイトでは、音楽に合わせた身体表現の例や楽器の奏法、拍子などを動画で確認したり、鑑賞教材で曲の流れや音の重なりを視覚的に捉えたりできるよう工夫がなされている <p>○ 小中連携した指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 各教材ページの上部に音楽を形づくっている要素を示すとともに、中・高学年では関連事項のメモ欄を設定している 学年で扱う音楽を形づくっている要素を一覧にした「『音楽のもと』まとめ」や当該学年で扱わない「はってん」を掲載し、中学校へのスムーズな移行を促す配慮がなされている 	<ul style="list-style-type: none"> 北海道民謡の「ソーラン節」や「江差追分」、地域に伝わる踊りや舞の音楽として「アイヌ古式舞踊」が扱われている 調べ学習から地域の音楽へ興味・関心を育む学習活動が展開できる内容が取り扱われている 音楽づくりで録音した音楽を聴き返して手直しをしたり、自分たちの演奏を確かめたりする活動を設定するなどの工夫がなされている ウェブ画面上で楽器の音を鳴らしたり、音符やリズム譜を操作して音楽をつくったりすることができる工夫がなされている 各ページの右下に音楽を形づくっている要素を示すとともに、巻末に「ふり返りのページ」を設定している 発展的な内容として「チャレンジ」や「ステップアップ」を掲載するなど、中学校へのスムーズな移行を促す配慮がなされている
本市生徒の学習の状況	<p>○ 音の重なりやフレーズを聞き取り、よさや面白さを生かして表現を工夫する力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 表現の特徴や工夫のポイントを「まなびナビ」で示し、「学び合う音楽」のコーナーでは、歌い方の工夫など表現を深める活動ができるよう工夫がなされている 歌唱と表現活動を関連させた活動などを設定し、発展的に表現を工夫する力を育成するよう配慮がなされている <p>○ 音遊びや即興的な表現を通して得た発想を生かし、音を選んだりつないだりして表現する力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 音を重ねたり選んだりするなどの活動がしやすくなるよう手順が図解されており、つくったリズムや音楽を書き込めるワークシートが設定されるなどの工夫がなされている 図形楽譜を用いて、簡単に音楽づくりが経験できるよう配慮がなされている <p>○ 想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、友達と伝え合い、友達の感じ方や考え方に共感する力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻末の「音楽を表すいろいろな言葉」に曲想や音楽の構造を伝えるための言葉が掲載されている 気付いたことや感じ取ったことをまとめるワークシートを掲載し、話し合う活動に生かすことができるよう配慮がなされている 	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容を視覚化するアイコンを設け、表現の特徴や工夫の具体的な手立てを示すとともに、キャラクターの吹き出しが表現の工夫や思考のヒントとなるよう配慮がなされている フレーズや旋律の重なりを表す絵図や歌い方のアドバイスを掲載し、曲にふさわしい表現ができるよう工夫がなされている 具体的な作品例や豊富なアイデアが例示され、音楽づくりへの見通しがもてるよう工夫がなされている 鑑賞や器楽と関連させた題材となっており、前時の学びを生かして音遊びや即興的な演奏表現が容易にできるよう配慮がなされている 楽曲のイメージに合った風景や楽器の仕組みを説明する写真を豊富に掲載するなど、楽曲の特徴を視覚的に捉えることができるよう工夫がなされている 自分の考えや気付きを書き込むことができるワークシートを掲載し、話し合う活動に生かすことができるよう配慮がなされている
その他	<p>○ 著作権への配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> 「心と心をつなぐ音楽」の中で音楽の著作権について触れられている 	<ul style="list-style-type: none"> 「著作権について知ろう」を掲載し、著作権の説明や音楽の著作物を尊重することの大切さを考える内容が扱われている